

【第1号議案】

【2020年度 事業報告】

▶総会

2020年通常総会

【日 時】2020年5月31日(日)

AM10:00 から 11:00 まで

【場 所】新型コロナウイルス拡散防止のためオンライン開催

【出席者数】全正会員数 28名 うち 出席者数 17名(うち委任状出席 13名)

【議案】

第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 2020年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 役員任期满了にともなう役員選任の件

▶理事会

開催状況

今回は理事会上程の案件が無かった事と、理事各位のスケジュール調整が困難な事もあり、個別に理事の意見を聞くという事で、理事の意見を吸い上げた。

第1回理事会

【日 時】2021年3月14日(日)

【場 所】オンライン会議

【出席者数】理事 5名

▶事務局会議

スタッフミーティング開催状況

毎月、第2日曜日にスタッフ会議を定例開催する事を基本としたが、メンバーの仕事関係を優先して日程を決め開催した。また今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン開催と併用で行った。また今年度は支援地とのコミュニケーションを増やし協力関係を強固にするため毎月、第1日曜日に定例でインドスタッフとも会議を実施した。

2020年	6月14日(日)	於	オンライン実施
	7月12日(日)	於	オンライン実施
	9月13日(日)	於	オンライン実施
	10月18日(日)	於	総合生涯学習センター
	11月8日(日)	於	総合生涯学習センター
	12月13日(日)	於	総合生涯学習センター
2021年	1月10日(日)	於	総合生涯学習センター
	2月28日(日)	於	総合生涯学習センター
	3月21日(日)	於	総合生涯学習センター

▶ 広報

■事業の概要

現地の様子を伝えること、ニランジャナセワサンガの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動した。

■2020年度の実績と成果

<実績と成果>

(1)対象者:支援者

①公式ロゴマークの策定

NPO 法人ニランジャナセワサンガは 2010 年に設立され、インドビハール州スジャータ村及びニーマ村周辺の教育環境整備、孤児院の運営、貧困層向け医療サービス、女性の就業支援事業、自然環境保全のための事業、また日本の学生を中心に異文化理解事業等を行ってきました。

活動歴も任意団体としての活動を合わせて 18 年を超え団体の発展により現地の教育状態も徐々に向上してきているものの、

- ・現地 NGO の自立継続(インド現地 NGO で活動継続できる)
- ・必要な支援についての認知とアクション(行動)

はまだまだ十分とは言えない状況にあります。

そこで、設立以来掲げてきた私たちの想い(未来を担う子どもたちに教育を)をより具体的に表現したロゴリニューアルいたします。

この度のロゴリニューアルは、私どもの知名度・団体の存在意義を一層高めることと、途上国の子どもたちの置かれている環境についてより多くの人々の関心・共感とアクションを呼び起こすことを目的として行います。

そのため、より社会に必要とされる公の団体に発展させるべく、認定 NPO 取得に向けて準備と理念の見直しを進めている一貫で今回ロゴの一新を決定しました。

②ウェブサイト

HP の改定を目下の課題として取り組んだが、予算の問題や現状のシステムを使いこなせるスタッフがおらず、今年度は facebook とインスタグラムも新たに開設し、情報発信の強化を図った。

<課題>

- ・HP の一新
- ・ウェブサイトの適時更新
- ・ソーシャルメディアの活用方法

▶ 支援者サービス

■事業の概要

昨年度の外部調査結果の元、現地情報や活動の様子をもっと知りたいとの声に応えるために例年のニュースレターの郵送回数を2回増やし、約3ヶ月に1度発行した。

■2020年度の実績と成果

<実績>

(1)サポーターへのニュースレター「Niranjana Letter」発行

支援者へ現地の子ども達の様子や各プロジェクトの進捗状況、イベントのお知らせなどを兼ねたニュースレターを会員及び協力者に向けて発送した。

(2) 現地からのクリスマスカード発送

2020 年児童が支援者に対しクリスマスカードを約 200 枚作成し、支援者のもとに郵送した。

▶ スタディツアー事業

インド・ビハール州ニランジャンスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

■ 2020 年度の実績と成果

<実績と成果>

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、実施できなかった。

▶ イベント事業

■ 事業の概要

イベントへの参加及びブース出店を通し、広く団体の活動を知って貰う。

■ 2020 年度の実績と成果

<実績と成果>

新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施できなかった。

▶ 研修・セミナーの開催と参加

① 大阪市総合生涯学習センターネットワークサロン

日時 2021 年 2 月 20 日(土) 14:00~16:00

場所 大阪市総合生涯学習センター 第8研修室

内容 「インドバーチャルツアー」

FB のメッセージ-の機能を使ってインドスジャータ村をディベンドラ氏に案内して頂く。

又その機会に当団体の活動やインドビハール州の状況や教育事情の講演を行った。

▶ 内部環境の整備

■ 事業の概要

今年度、日本人スタッフが7名になり、コミュニケーションを円滑に行えるように以下のシステムを導入した。

1、 Google Workspace for Nonprofits

2、 slack

■ 2020 年度の実績と成果

1、 Google Workspace for Nonprofits

導入後、セキュリティ性の高いシステム内で会員情報の共有やスタッフ会議の議事録共有等が可能になった。また、各種問い合わせや申し込み回収時に google フォームを使用し、郵送費の削減にも寄与することができる。

2、 slack

導入後、各メンバー間のコミュニケーションを slack 内で行うことにより各自の TODO の進捗の見える化を図ることができた。まだ情報が分散することがあるので、引き続き情報の整理整頓を行なっていく。

<課題>

この一年内部環境の整備を重点的に行なってきた。会員管理システム(内製システム)のサラサワティと会員引き落としシステムが別システムのため、業務に時間とコストが多く割かれている。また、そのようなシステムが全て手作業で打ち込みをしなければならず、スタッフの労務負荷になっている。今後、会員システムと引き落とし業務が連動するように、システムの選定を行い、業務効率の改善により会員様に寄り添った活動ができる仕組みを作り上げていく。

インド①▶学校教育

■事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体トラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給、給食配給(週2日)をすべて無料で実施。

2003年よりブッダガヤ周辺の17の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに17年間、年間約500名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒन्दウー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざまな宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

■2020年度の成果:

- ・新型コロナウイルス拡散防止のため、1年間ほとんど学校に生徒が来ることができなかった。そのため、現地のスタッフで教科書の配布を行い、電話での質問対応を実施した。少し落ち着いたタイミングでは学校に現地スタッフが駐在し、わからないところがあれば学校に来て質問対応をするなど現地の子供達に寄り添った活動を実施。
- ・今後も引き続き学校閉鎖が長期化することを見越し、オンライン授業実施に向けた環境整備を行なった。スマートフォンの配備(トライアルで7台購入)、スタッフへの研修実施。

現在、本校の生徒数は320名。ビームスクールが180名

<課題>

1年間学校閉鎖が国内全土で行われ、富裕層は自宅で高品質なオンライン授業などの手厚いサービスを受け、中間層から我々の支援する貧困地域までがオンラインの授業を受けるためのデバイスがないことや良質な授業を受けられる資金がないことで、今後ますます格差が拡大する可能性が高い。

インド②▶孤児院(ドミトリー)

■2020年度の状況:

・日本からの送金だけではやっていけない為、新規の孤児受け入れは行っていない。

インド③▶スジャータ・アシュラム(女性センター)

■事業の概要

女性の地位の向上に向け、家庭の中でも自信や誇りを持ち、強く生きていけるようにと始まったプロジェクト。2011年にスジャータ・アシュラムが完成。

裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。

■2020年度の状況:

チームピースチャレンジャーの支援と生産委託で、仕事としての縫製・収入と技術習得の機会を提供している。

インド④▶植林・有機農業

■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー(森をつくる農業)のモデルケースとなることを目的としたプロジェクト。開始から7年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑にて、土作りと再耕作を計画した。

■2020年度の実績と成果

・今年度実施報告なし。

インド⑤▶ウォーターポンプ設置・特別ドネーションの募集

■事業の概要

ニーマ村の水事情が悪く、依然として水を遠方の井戸から運ばなければならない状況となっている。ウォーターポンプ(一口1万円)の特別寄付を募集した。

■2020年度の実績と成果

4基のウォーターポンプの設置を行なった。

大理石に寄付者芳名を刻んだ事で寄付者からも喜びの声が寄せられた。

インド⑥▶新型コロナウイルスによる緊急支援事業

■事業の概要

2019年12月末に会員様を中心に寄付を募り、日本円で10万円を送金し、以下の緊急支援を実施した。

- 1、マスクの配布
- 2、ガムチャ、スカーフの配布
- 3、食料の配給
- 4、予防促進プログラムの実施

■実績と成果

支援地の方々の多くは、ホテルやレストランでの労働に従事しているが、環境に依存している地域のため観光客が減ると、収入がへる。そのため、今回の緊急支援により、一時ではあるが生活を支えることができた。またマスクをつける文化のないインドで教育機関としてマスクをしたり手洗いを徹底する意味を指導したり、地域にポスターを掲示し啓発するなど、私たちにしかできない支援を行なった。
